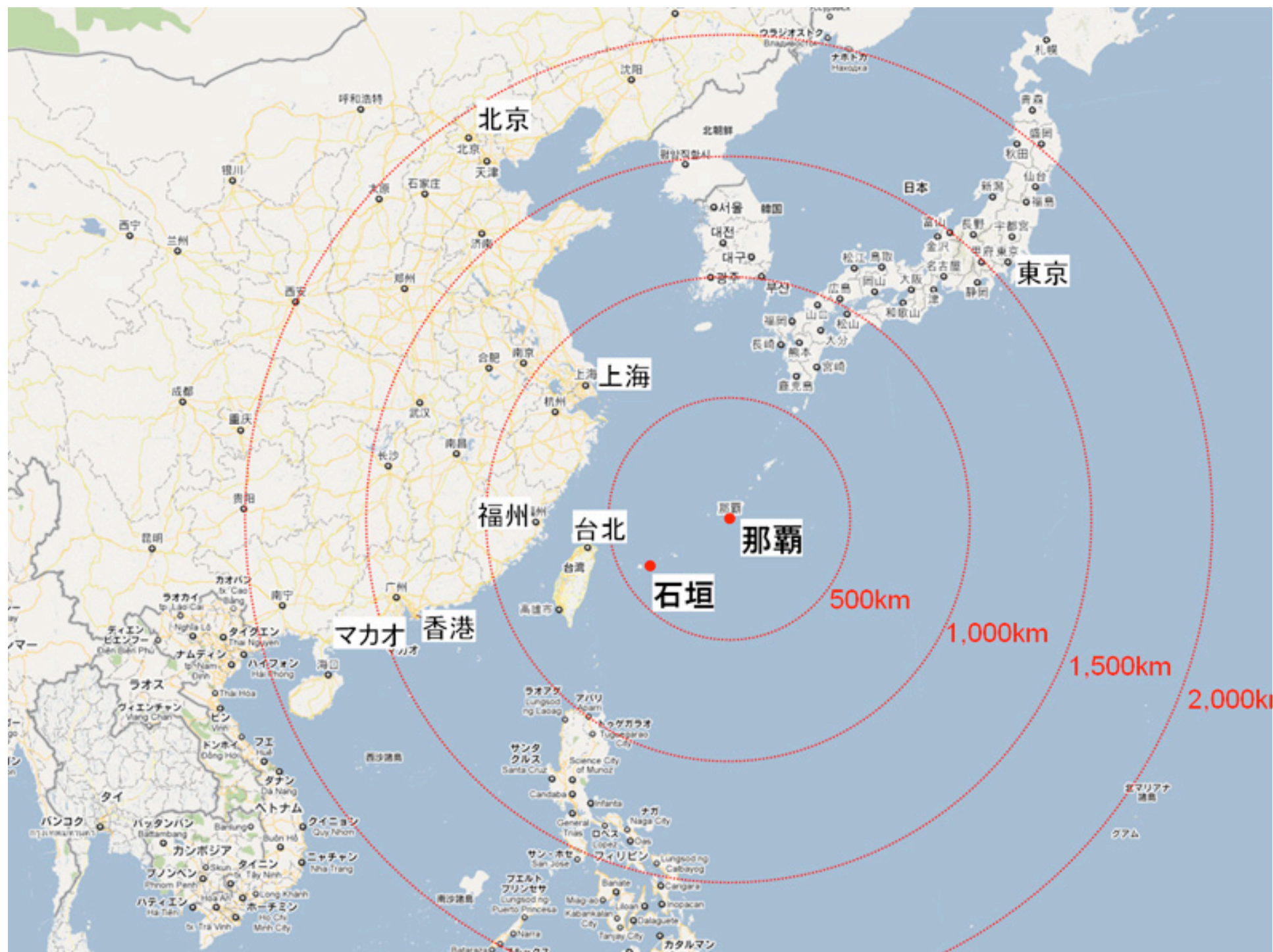


# 沖縄及び北方問題に関する特別委員会 意見陳述

平成24年3月26日

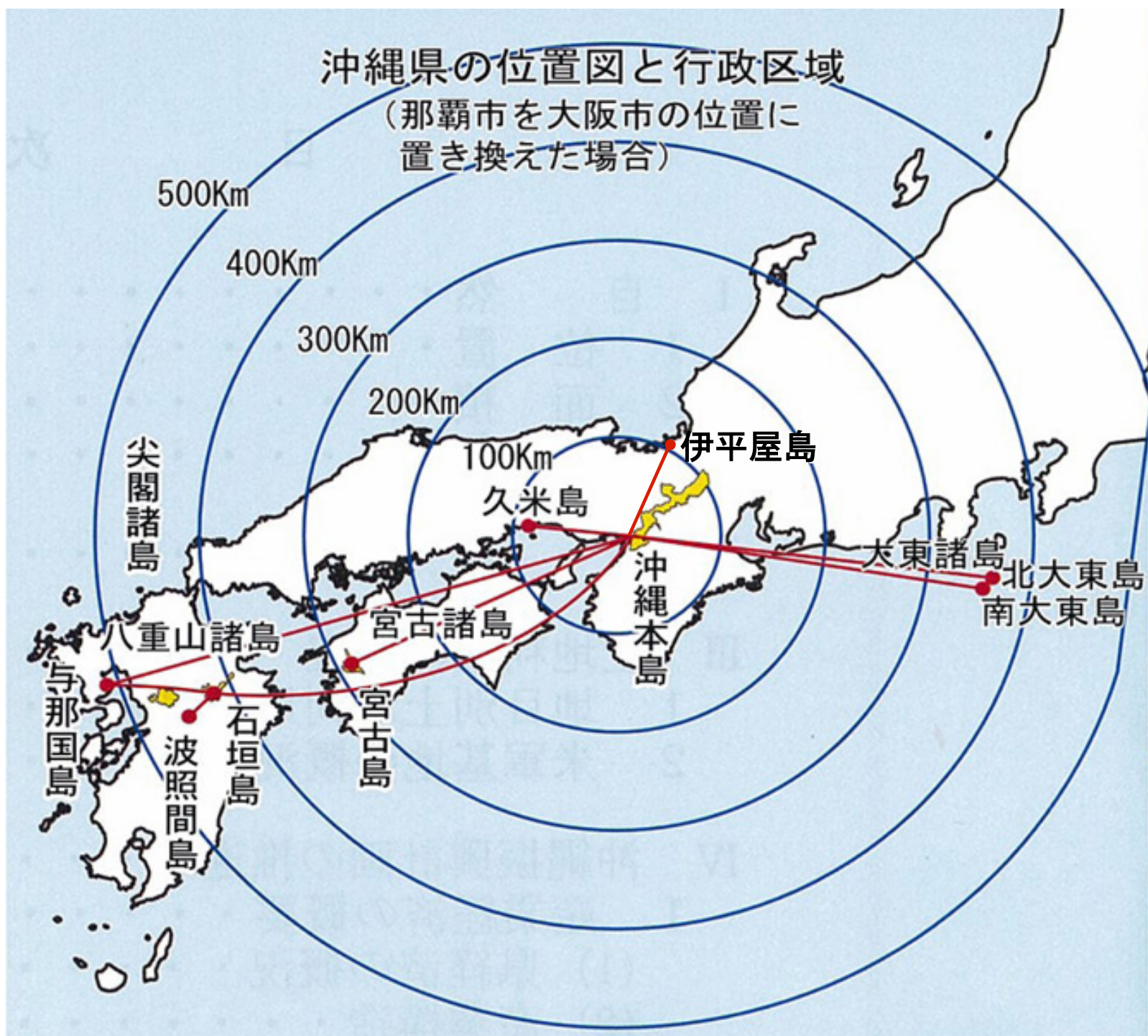
株式会社カルティベイト 比嘉 梨香



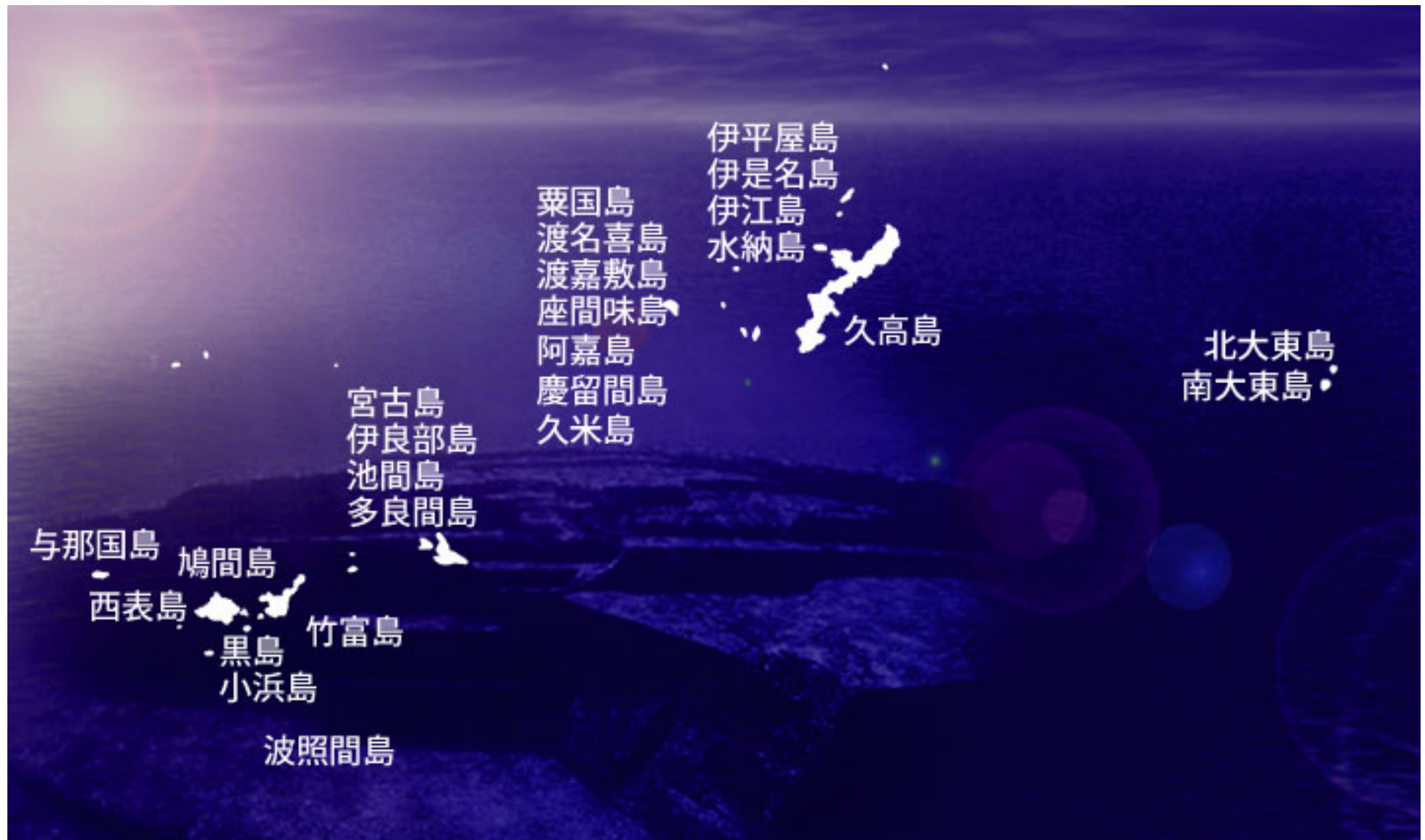


# 沖縄県の位置図と行政区域

(那覇市を大阪市の位置に  
置き換えた場合)



# お手伝いさせていただいた25の離島





## 那覇⇒離島の距離・時間・費用

### 伊平屋島(有人島最北端)

直線距離 95.22km  
時間距離 約3時間  
経済距離 約7,000円  
(バス+タクシー+船)

### 北大東島(最東端)

直線距離 362.82km  
時間距離 1時間5分  
経済距離 24,900円  
(飛行機)

栗国島

渡名喜島

### 与那国島(日本最西端)

直線距離 509.98km  
時間距離 1時間35分  
経済距離 34,800円  
(飛行機+飛行機)

### 波照間島(有人島日本最南端)

直線距離 459.24km  
時間距離 2時間15分  
経済距離 約28,000円(飛行機+タクシー+船)

### 那覇ー東京

直線距離 1551.83km  
時間距離 2時間15分  
経済距離 40,900円

### 那覇ー台北

直線距離 626.31km  
時間距離 1時間30分  
経済距離 44,000円

# 1. 離島振興における課題

全国一律の制度や許可基準は、離島にはそぐわないことが多い

旅客自動車運送事業 許可基準(抜粋)

| 旅客自動車運送事業                               |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業 法第2条第2項) |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                  |
|                                         | 一般貸切旅客自動車運送事業                                                                                                                 | 一般乗用旅客自動車運送事業                                                                                                                                                                    |
|                                         | 1個の契約により乗車定員 <b>11人以上</b> の自動車を貸し切って旅客を運送する事業 例:観光バス等)                                                                        | 1個の契約により乗車定員 <b>10人以下</b> の自動車を貸し切って旅客を運送する事業 例:タクシー、ハイヤー等)                                                                                                                      |
| 最低車両数                                   | 1) 沖縄本島:申請する営業区域ごと3両以上<br>2) 沖縄本島以外の地域:営業区域ごと <b>3両</b>                                                                       | 1) 沖縄本島:営業区域において営業所ごと10両以上<br>2) 宮古島及び石垣島:営業所ごと5両以上<br>3) その他の営業区域:営業所ごと3両以上<br>ただし、<br>●一般乗用旅客自動車運送事業者の営業所が存在しない島しょ部は、 <b>1両以上</b><br>●一般乗用旅客自動車運送事業者の営業所が存在しない町村は、 <b>2両以上</b> |
| その他                                     | ●許可等に付す条件等<br>離島での輸送、会葬者の輸送等の特殊な申請については、 <b>その内容に応じ、それぞれの特性を踏まえて弾力的に判断すること</b> とし、許可に際しては、必要に応じ業務の範囲を当該輸送に限定する旨の条件等を附することとする。 | ●適用<br>1) 特殊なサービスに限る事業については、事業の特性を踏まえて判断することとし、許可に際しては、必要に応じ、業務の範囲を当該事業に限定する旨の条件を附することとする。                                                                                       |



# 沖縄県最東端・北大東村





# 1. 離島振興における課題

## 沖縄県最東端・北大東村の事例

- 那覇から東へ360kmに位置する一島一村の自治体。
- 断崖絶壁に囲まれた約12km<sup>2</sup>の面積に約530人が住む。
- 基幹産業は農業。主にサトウキビ。他にじゃがいも、かぼちゃ。
- 高校がないため、子どもたちは中学校卒業後、島から出なければならない。
- 一日一便、39人乗りのDAC8が、那覇・南大東との三角運行をしている。
- フェリーは那覇から14時間、5日に1回程度の就航。
- 船は接岸できないため、人も荷物もクレーンで上陸。
- 水は海水を淡水化して利用。水道料金は那覇の約2倍。東京都の約3倍
- 島外からの来訪者は年間約6200人、うち約1200名が観光客。
- 島の宿泊施設は、公設民営のハマユウ荘(25室、52人収容)、二六荘(17室、30人収容)



交通、社会資本等にハンディがある小規模離島の活性化には、法制度の運用や補助金等の支援策に自由度が必要

## 2. 学校教育の課題

### ☆沖縄県の特徴

- 東西1000km南北400kmの海域に、沖縄本島と39の有人離島が点在。
- 全国で唯一、他都道府県と道路や鉄道でつながっていない。
- 県民の約1割が39の有人離島に住む。
- 高校や病院へ陸路で行けない小規模離島に住む県民は約21,000人で、全県民の1.5%（総合病院がある島は、石垣島、宮古島、久米島）。
- 高校がある島は沖縄本島以外に4島（石垣島、宮古島、久米島、伊良部島）
- 島外の高校へ進学した子どもに対する親の負担は8万～10万円。
- 僻地・離島校が県内全小中学校の35.2%（2010年）。
- 4,5級僻地となる小規模離島の小中学校の教員の任期は2年。臨時任用も多いため、毎年半分から3分の2の教員が入れ替わっている。
- 離島の小中学生は船や飛行機を使わないとスポーツや文化の大会に出場できないため、自治体や家庭の旅費負担が大きい。
- 学校給食の食材流通コストや小ロットによる単価の高さを補助で補わなくては、離島小中学生に公平な食事を提供できない。



## 2. 学校教育の課題

|                      | 沖縄県                    | 長崎県                    |
|----------------------|------------------------|------------------------|
| ・有人離島数               | 39島                    | 52島                    |
| ・へき地校の割合             | 小学校32.74%<br>中学校38.04% | 小学校29.93%<br>中学校29.86% |
| ・へき地校の児童生徒数          | 13,841人                | 13,411人                |
| ・1～2級へき地学校数<br>児童生徒数 | 16校<br>530人            | 120校<br>11,630人        |
| ・3～5級へき地学校数<br>児童生徒数 | 138校<br>13,311人        | 63校<br>1,781人          |

・高校がない島の中学校に通う生徒数(2009年)

長崎が11校114人、沖縄は25校767人

・沖縄本島北部にも3級地小学校2校、中学校1校、4級地小学校3校がある。(長崎の3,4級地小中学校は離島のみ)

## 2. 学校教育の課題

### ☆離島小中学校の文化・スポーツ活動における負担が大きい

日本最西端の与那国町では、児童生徒の石垣・本島への大会派遣は年間800万円に上る。自治体・父兄の負担は大きい。（郡部での優勝を単純に喜べない現実）

#### 与那国町内小中学校平成 21 年度児童生徒派遣事業実績

| 学校名    | 派遣人数 | 総経費         | 補助金の額       | 保護者等<br>負担額 | 1 人回あたり<br>負担額 |
|--------|------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 与那国小学校 | 56   | 1, 423, 120 | 773, 300    | 649, 820    | 11, 604        |
| 久部良小学校 | 37   | 901, 720    | 471, 200    | 430, 520    | 11, 636        |
| 比川小学校  | 16   | 324, 360    | 158, 400    | 165, 960    | 10, 373        |
| 与那国中学校 | 140  | 3, 272, 100 | 1, 638, 500 | 1, 633, 600 | 11, 669        |
| 久部良中学校 | 84   | 2, 134, 965 | 1, 007, 500 | 1, 127, 465 | 13, 422        |
| 合計     | 333  | 8, 056, 265 | 4, 048, 900 | 4, 007, 365 | 12, 034        |



## 2. 学校教育の課題

☆夜型社会、飲酒に寛容な地域性、都市化・核家族化等による地域コミュニティの衰退などの社会環境も、子どもたちの健全育成を難しくしている。

|                             |                                                   |
|-----------------------------|---------------------------------------------------|
| 人口10万人当りの風俗営業店の数            | 353軒(全国比4.2倍)2008年12月                             |
| 深夜酒類提供飲食店(人口10万人当たり)        | 411軒(全国比1.9倍 九州比1.4倍)                             |
| 青少年の飲酒補導数(人口千人当り)           | 5.2人(全国比5.2倍 2009年)                               |
| 青少年の深夜徘徊補導数(人口千人当り)         | 85.6人(全国比2.5倍 2009年)                              |
| 一世帯当りの人員                    | 2.74人(全国平均2.55人 2005年)                            |
| 離婚率(人口千人当り)                 | 2.71件(全国2.02件 2007年)                              |
| ひとり親世帯率<br>(国立社会保障・人口問題研究所) | 父子家庭3.2%(全国2.3%)<br>母子家庭9.9%(全国6.4%)              |
| 孤食児童(夕食)の比率                 | 小学生4.1%(全国平均2.2%)2006年<br>中学生12.4%(全国平均6.9%)2006年 |

教育施策や支援事業は、一元的ではなく子どもたちの状況に合わせて、都市部と離島、底上げと後押しの両面が必要

### 3. 世界に開かれた交流と共生の島・沖縄の可能性

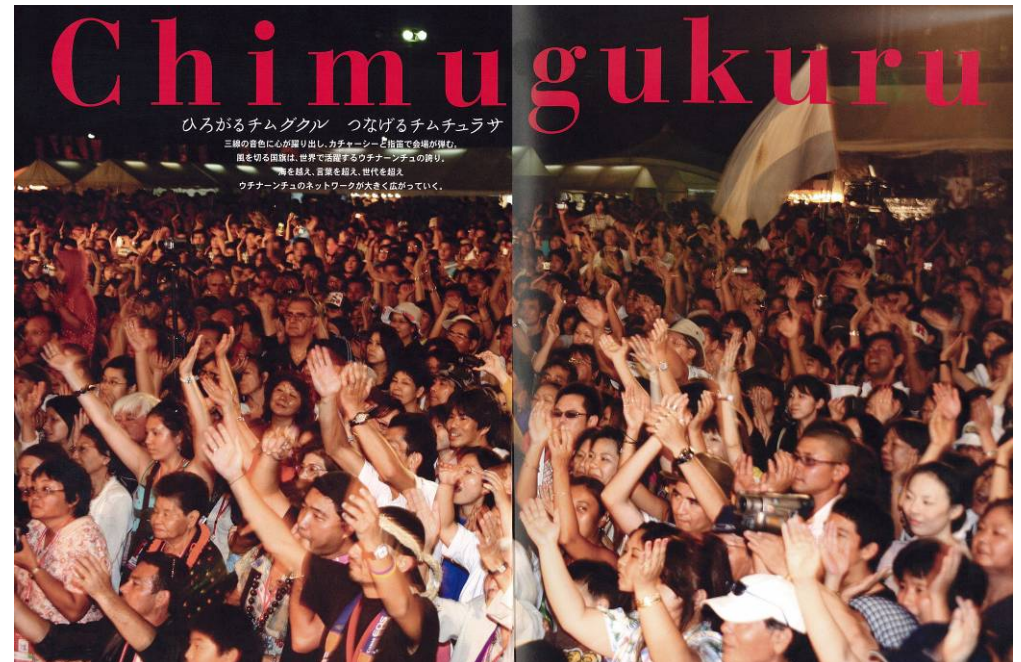
「アジア青年の家」・「アジアユース人材育成プログラム」の成功



### 3. 世界に開かれた交流と共生の島・沖縄の可能性

#### ☆「世界のウチナーンチュ大会」

- 万国津梁の県民性、1世紀を超える移民の歴史を背景に、40万人ともいわれる世界の県系人が母県に集い、沖縄らしさ・沖縄的価値に触れて絆を深め、感動を共有する、1990年以来5年に一度開催されている大イベント。
- 世界のウチナーンチュが「いつかは参加したい」と憧れる、沖縄ブランドの具現化に成功したモデルケース。昨年開催された第5回大会では約5,200名が、沖縄に集った。



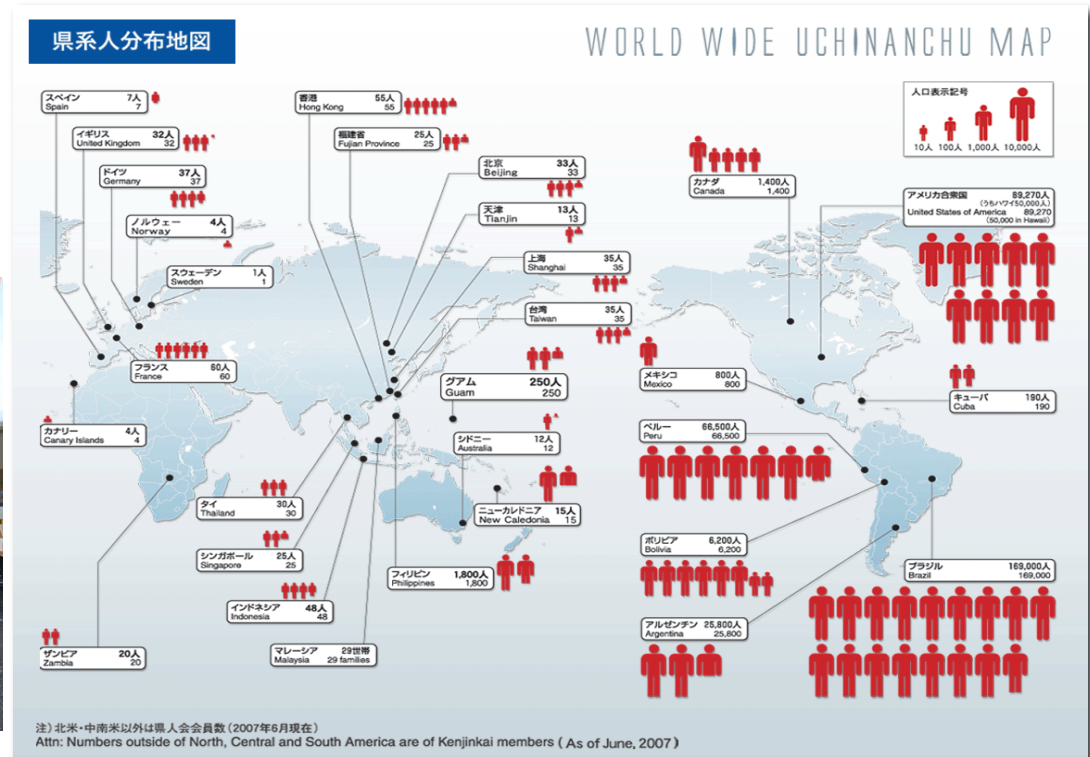


### 3. 世界に開かれた交流と共生の島・沖縄の可能性

#### ☆「第5回世界のウチナーンチュ大会」

#### 次世代プロジェクトの成功

学生事務局が主体的に運営した次世代のネットワークは、10カ国。  
今年はブラジルでユース大会を開催予定。



# 世界に開かれた交流と共生の島・沖縄の可能性

## 次世代ネットワーク来年度以降年度計画

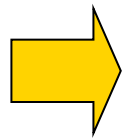
2011年 第5回世界のウチナーンチュ大会

2012年 若者ウチナーンチュ大会in南米(ブラジル)

2013年 若者ウチナーンチュ大会in北米(ハワイ)

2014年 若者ウチナーンチュ大会inヨーロッパ(イギリス)

2015年 第6回世界のウチナーンチュ大会



- ・海外若者と沖縄若者のネットワーク強化、顔が見える関係性を作る(海外⇄沖縄)
- ・沖縄の若者が外に出る機会、キッカケを作る(沖縄)
- ・他国同士横のつながりを作る(海外⇄海外)



### 3. 世界に開かれた交流と共生の島・沖縄の可能性

☆世界に40万人ともいわれる血縁ネットワークがある沖縄では、世界中の人が安心して集い、対話できる土壌がある。

☆アジア青年の家、アジアユース人材育成プログラム、ジュニアスタディーツアー、次世代プロジェクト等を通じた青少年の交流で、人種、宗教、言語などの壁を乗り越えた絆が生まれている。

世界に開かれた  
交流と共生の島たるために



青少年の国際交流事業の継続支援は必須